



岩手県教育研究所連盟事務局
 岩手県立総合教育センター
 〒025-0395 花巻市北湯口 2-82-1
 平成 31 年 1 月 28 日発行 第 19 号
<http://www1.iwate-ed.jp/kenkyouren/>



教育研究所連盟の皆様と共に

岩手県教育研究所連盟 会長 藤岡 宏章

(岩手県立総合教育センター所長)

大寒の候 県教育研究所連盟の会員の皆様におかれましては、本年度の県教連の事業の推進にご尽力いただきまして、誠に有り難うございました。

昭和 33 年に発足した岩手県教育研究所連盟も、今年で発足 62 年目を迎えます。当連盟では県内各地の教育研究機関が連携を密にし、教育に関する調査・研究を充実させ、本県教育の推進、向上に寄与することを目的として活動して参りました。

今年度は 5 月に定期総会、協議会、9 月に研修会を開催いたしました。研修会におきましては、甲南女子大学人間科学部総合子ども学科 教授 村川 雅弘氏 をお招きし、「資質・能力を育むカリキュラム・マネジメントの実現」のテーマでご講演いただき、カリキュラム・マネジメントの趣旨及び背景、確立するための要素等についてご教授いただきました。

来る 2 月 7 日、8 日には岩手県教育研究発表会が行われます。今年度も盛岡市、矢巾町、八幡平市、花巻市、住田町、二戸市の 6 つの教育研究所から 7 本の発表をいただく予定です。各所の研究成果の発表が、本県の教育に大きな役割を果たすものと期待しております。また、加盟機関の皆様がたくさん参加をお待ちしております。

来年度からスタートする岩手県次期総合計画の推進にあたり、今年度は節目の年となります。岩手の復興を支え、希望を持ち未来へ向かう子どもたちを健やかに育てていくことは県民全体の願いです。今後、郷土に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する教育の推進を図るため、教育の専門機関としての当連盟の役割はとても重要となります。加盟機関の皆様との情報交換、連携を図りながら、岩手の教育のために尽力して参りたいと存じますので、よろしく願いいたします。

■平成 30 年度定期総会の報告■

平成 30 年 5 月 11 日 (金)、総合教育センターにて、平成 30 年度岩手県教育研究所連盟定期総会が開催されました。

総会では、昨年度の事業報告並びに決算報告が行われ、今年度の役員案、所員研修会、岩手県教育研究発表会等の事業、予算案が承認されました。

承認いただいた平成 30 年度の役員は右のとおりです。

会 長	藤岡 宏章	県立総合教育センター 所長
理 事	小山田 秀次	盛岡市教育研究所 所長
	中村 哲	花巻市教育研究所 所長
	寺澤 幸昌	久慈市教育研究所 所長
	福士 幸雄	県立総合教育センター 研修部長
監 事	侘美 淳	紫波町教育研究所 所長
	菅原 文彦	矢巾町教育研究所 所長
事務局	県立総合教育センター企画担当	
	佐藤 禎信	主任研修指導主事
	吉田 幹伸	主任研修指導主事
	後澤 大世	研修指導主事
	岩澤 利治	研修指導主事
	福田 勝雄	研修指導主事
	勝馬田 彩音	主事

■ 平成30年度研究協議会 ■

今年度の研究協議会では、全体会Ⅰで総合教育センターの今年度の取組の重点について、各加盟機関にお知らせしました。分科会では、各研究所から事前にアンケートをとり、それをもとに3つの分科会を構成し、それぞれのテーマにかかわって協議しました。全体会Ⅱでは各教育研究所の活動報告及び情報交換を行いました。

【全体会Ⅰ：総合教育センターの取組について】

■ 教育センターの研究について

主任研修指導主事 新沼 健

■ 教育センターの研修について

理科教育業務について

研修指導主事 大懸 慈人

■ 情報教育業務について

主任研修指導主事 三田 正巳

■ 教育支援相談業務について

主任研修指導主事 近藤 健一

■ 岩手県教育研究発表会について

研修指導主事 後澤 大世

【分科会】

第1分科会 「授業力向上・学力向上について」

第1分科会では、特別の教科 道徳と小学校の外国語活動について授業改善の視点から情報交換が行われました。

育成を目指す「資質・能力」をどう設定し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をどのように講じていくのか、小中高のつながりをどのように図っていくか等について情報交換がなされました。



第2分科会 「不登校・適応指導教室について」

第2分科会では、適応指導教室の運営の在り方について情報交換が行われました

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携は、児童生徒の学校復帰に効果がある、学校復帰に向けて支援の情報共有を適応指導教室と学校が連携を密にとることが大切であるなど、意見交換がなされました。また、学校復帰を目指して適応指導教室でのルールについてなど、支援の在り方等について具体的な情報交換がなされました。



第3分科会 「異校種間連携（幼保小中高）について」

第3分科会では、異校種間の連携の必要性和推進するにあたってのポイント等について情報交換が行われました。

異校種間連携は、校種を越えて授業を見合うことにより図られていることや、スタートカリキュラムを通した保幼小接続や、外国語教育を通した小中学校の連携など、今後、カリキュラム・マネジメントの視点から様々な分野での連携が期待されます。それらの課題に向けて、教育研究所としてどう係わっていくか情報交換がなされました。



■ 平成30年度 岩手県教育研究所連盟研修会 ■

9月18日(火)に、岩手県立生涯学習推進センターを会場に教育研究所連盟の研修会が行われました。講師に甲南女子大学人間科学部教授 村川 雅 弘 氏をお招きし、「資質・能力を育むカリキュラム・マネジメントの実現」についてご講演いただきました。村川教授は、「いわての復興教育プログラム」の作成にあたり、検討委員として復興教育の土台作りに関わり、多くの示唆をいただいた先生でもあります。

本研修会では、研究所連盟の皆様だけでなく、県内各地から100名を超える先生方に参加いただき、カリキュラム・マネジメントについて学ぶことができ、実りある研修会となりました。

講演では、はじめに新学習指導要領の柱の一つである「カリキュラム・マネジメント」の趣旨及び背景として「中央教育審議会教育課程企画特別部会」の答申について触れて解説していただきました。そして、学校全体として育成を目指す資質・能力を具体化して共有化を図る方法の一つとして、大阪教育大学連合教職大学院の田村知子教授のカリキュラムマネジメント・モデルを基に、いろいろな視点から解説していただきました。

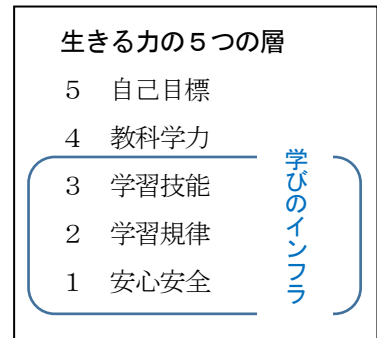
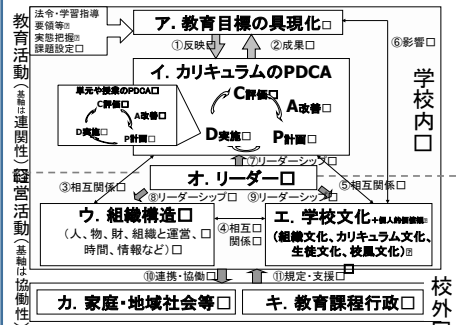
(講演内容を一部まとめたもの)



カリキュラム・マネジメントとは端的に述べると、先行き不透明な次代を生き抜くために求められる資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教育課程をより良いものに改善していくことです。校内研修を通して目の前の子供の実態を踏まえつつ、次代に育成すべき資質・能力の明確化と共通化を図り、教育活動の内容や方法を不断に見直し、先を見通しつつ俯瞰的に教育活動全体を関連付けることです。

生きる力の5つの層のうち、学習技能、学習規律、安心安全を学びのインフラとして捉え、学校を挙げて学習規律、学習理論、言語活動の充実を徹底して行います。質の高い授業を展開するために、子供たちに身に付けさせるべき力や教師の手立てを具体化して共有化を図り、どの学級、どの授業についても足並みを揃えます。安心して学校や教室に居れる、自分の意見を言える、そしてみんなが話を聞いてくれる、ノートの取り方を先生が指導してくれる、そういうような学校を教師みんなで作っていきます。それが、カリキュラム・マネジメントです。

一人一人の教師の努力では限界があるので、みんなで学校づくり、授業づくりをどうするのか、組織をどうしていくのか、研修を通して考えます。カリキュラム・マネジメントの考え方は小中高、校種を越えて共通です。また、カリキュラム・マネジメントの実現のための研修の仕方は、いろいろアレンジできますので、ぜひ、活用していただければ幸いです。



学校のカリキュラム・マネジメントを前提として「教科・領域」「学年」「学級」「子供一人一人の自己の学び」として5つのレベルで捉えたカリキュラム・マネジメントについて事例を紹介いただき、今後の実践の参考となる学校や授業づくりについて学ぶことができた貴重な時間となりました。



■ 平成30年度（第62回）岩手県教育研究発表会 ■

平成31年2月7日（木）、8日（金）の2日間の日程で岩手県教育発表会が開催されます。昨年度に引き続き「確かな学び、豊かな学びをつなぐ」をテーマに設定し、提案授業、講演会、各分科会で運営いたします。全体会、開催分科会の日程は下記の通り実施いたします。

2月7日（木）

午前	花巻温泉					
	全体会	総合教育センター提案授業				
講演会		演題 「資質・能力を育むカリキュラム・マネジメントの実現」				
		講師 千葉大学教育学部 特任教授 天 笠 茂				
午後	花巻温泉			生涯学習推進センター	総合教育センター	
	特設分科会1 「学力向上」	特設分科会2 「学校マネジメント」	「道徳」 (道徳教育パワーアップ研究協議会)	特設分科会3 「生徒指導」	特設分科会4 「プログラミング教育」	「幼児教育／ 幼小接続」

2月8日（金）

午前	花巻温泉	生涯学習推進センター	総合教育センター
	国語 算数／数学 特別支援教育	特設分科会5「部活動」 社会／地理歴史・公民 いきる・かかわる・そなえる	理科 外国語活動／外国語 異校 種間連携 総合的な学習の時間／ キャリア教育 情報教育
午後	国語 算数／数学 特別支援教育	体育／保健体育 教育相談 いきる・かかわる・そなえる	理科 音楽 図画工作／美術 家 庭／技術・家庭 外国語活動／外 国語 総合的な学習の時間／キャ リア教育 情報教育

※総合教育センター管理棟 正面玄関ホールで学校公開ポスターの掲示が行われます。

総合教育センターをご活用ください

総合教育センターでは、要請研修、随時研修、どようび研修など様々なニーズに対応しています。詳細については各担当までお問い合わせください。

■ 企画担当 0198-27-2833

教育図書・資料の収集・提供、カリキュラム・マネジメント、いわての復興教育に関する内容

■ 教科領域教育担当 0198-27-2735

幼児教育から小学校・中学校・高等学校の教科・領域等の指導に関する内容

■ 理科教育担当 0198-27-2742

小学校・中学校・高等学校の理科の指導に関する内容

■ 情報・産業教育担当 0198-27-2254

情報教育、視聴覚教育、技術・家庭科、高校専門教育に関する内容

■ 教育支援相談担当 0198-27-2821

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校における個別又は集団の教育支援に関する内容

センターWeb ページでは、教育研究、学習指導案、研修講座関連資料等各種教育情報を提供していますので、こちらもご覧ください。

<http://www1.iwate-ed.jp/>